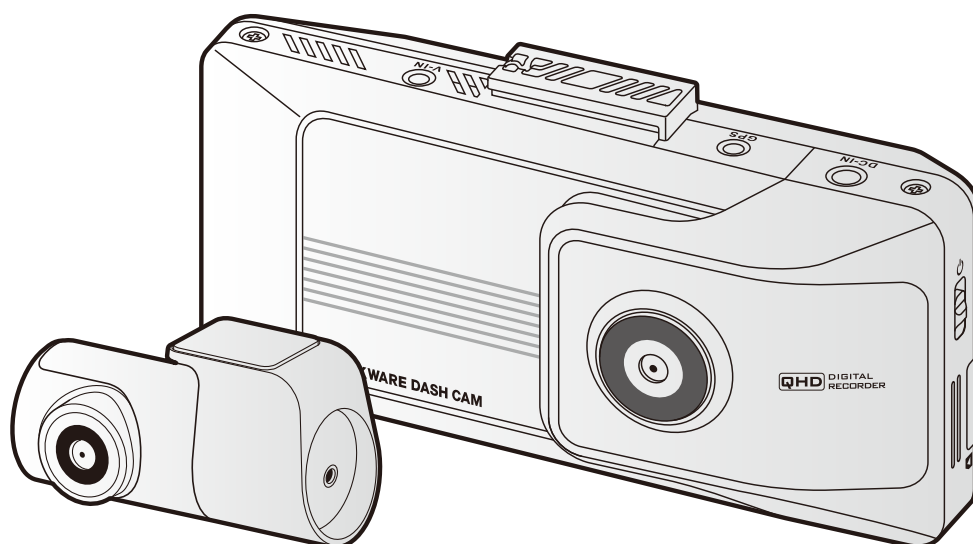


THINKWARE DASH CAM™

QN300

ユーザーガイド

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、こちらのユーザーガイドをよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。



ご使用になる前に

本製品について

本製品は、車両の走行映像を記録する補助装置です。本製品は、事故状況および走行映像確認の参考用としてのみ使用してください。本製品は、全てのインシデント映像を録画して保存できるわけではありません。使用環境に応じて、衝撃感知センサーが作動しない程度の微小な衝撃や、バッテリー電圧誤差を誘発しうる強い衝撃を伴う事故映像は、正しく記録されない場合があります。

本製品の起動中は録画映像が保存されません。録画映像の損失を防ぐには、本製品の電源を入れて起動が完了するまで待ってから運行を開始してください。

THINKWAREは、事故によるいかなる損失に対しても責任を負いません。また、事故の結果に関していかなるサポートも責任も負いません。

リモートドアロックデバイス、ECU設定、TPMS設定などの車両の構成や動作条件によっては、一部の製品機能がサポートされない場合があります。ファームウェアのバージョンが異なると、製品のパフォーマンスや機能に影響を与えることがあります。

ユーザーガイドについて

本ユーザーガイドに記載された情報は、メーカーのサービス方針の変更に伴い、変更される場合があります。情報が変更された場合は、THINKWARE公式ウェブサイト(www.thinkware.co.jp)およびアプリにて別途案内されます。本ユーザーガイドは、THINKWARE QN300モデル専用であり、技術的な誤り、記載ミス、または情報の欠落を含む可能性があります。

著作権について

本ユーザーガイドのコンテンツおよび地図に関するすべての権利は、THINKWAREによって保持され、著作権法に基づいて保護されます。THINKWAREの書面による同意なく、本ユーザーガイドを無断で複製、改訂、出版または配布した場合は、著作権法などにより、刑事罰の対象となります。

商標登録について

THINKWARE QN300は、THINKWAREの登録商標です。

本ユーザーガイドに記載されているその他の製品ロゴおよびサービス名は、関連する企業の商標です。

音声録音のオン/オフ切り替えについて

一部の地域では、車内での音声録音が禁止されている場合や、録音する前に同乗者全員の同意が必要な場合があります。録音を行う際は、各地域の法律および規制を確認し、従ってください。

本製品は、映像録画中に内蔵マイクを使用して音声を録音できます。音声録音は初期設定ではオンになっています。音声録音のオン/オフはマニュアルをご参照のうえ、いつでも切り替えが可能です。

目次

安全上のご注意	4	4. 道路安全機能およびADAS機能の使用	27
1. 製品概要	6	4.1 安全運転案内機能	27
1.1 同梱物	6	4.2 ADAS機能(先進運転支援システム機能)	27
1.2 各部の名称と役割	7	4.2.1 ADAS機能の設定	27
1.2.1 ドライブレコーダー(本体) - 前面図	7	4.2.2 ADASによる安全運転支援機能	28
1.2.2 ドライブレコーダー(本体) - 背面図	8	5. 設定	29
1.2.3 後方カメラ	8	5.1 カメラの設定	29
1.3 メモリーカードの取り付けおよび取り外し	9	5.2 録画機能の設定	29
2. 製品の取り付け	10	5.3 運転安全機能およびADAS機能の設定	30
2.1 ドライブレコーダー(本体)の取り付け	10	5.3.1 運転安全機能の設定	30
2.1.1 取り付け位置の選定	10	5.3.2 ADAS(先進運転支援システム)の設定	30
2.1.2 製品の取り付け	11	5.4 システム設定の構成	31
2.1.3 電源ケーブルの接続	13	6. モバイルビューアの使用	32
2.2 後方カメラの取り付け	16	6.1 製品をスマートフォンに接続する	32
2.2.1 取り付け位置の選定	16	7. PCビューアの使用	33
2.2.2 後方カメラの取り付け	17	7.1 システム要件	33
2.2.3 後方カメラケーブルの接続	18	7.2 PCビューアの概要	33
3. 録画機能の使用	19	7.2.1 PCビューアのダウンロード	33
3.1 製品の電源をオン/オフにする	19	7.2.2 PCビューアの画面構成	34
3.2 LCDディスプレイの使用	19	7.2.3 PCビューアで録画映像を再生する	35
3.3 ステータスLEDとファイルの保存場所	19	8. ファームウェアのアップグレード	36
3.4 常時録画機能の使用	20	9. トラブルシューティング	37
3.5 手動録画	21	10. 製品仕様	38
3.6 駐車モードの使用	21		
3.7 スーパーナイトビジョンの使用	22		
3.8 画面のレイアウト	23		
3.8.1 ライブビュー画面	23		
3.8.2 ホーム画面	24		
3.9 映像の再生	25		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、本製品を正しくお使いください。

本ユーザーガイドの安全に関する記号



「警告」 - 死亡や重傷を負うおそれがあることを示しています。



「注意」 - 軽傷や物的損害が生ずるおそれがあることを示しています。



「参考」 - 本製品の機能を活用するのに役立つ有益な情報を提供しています。

正しく使用するための安全性に関する情報

運転と製品の操作



- ・自動車運転中に本製品を操作しないでください。運転中の操作は事故の原因となり、負傷や死亡につながるおそれがあります。
- ・運転手の視野を妨げない場所に本製品を設置してください。運転手の視野を妨げることは事故の原因となり、負傷や死亡につながるおそれがあります。フロントガラスに本製品を取り付ける前に、法律や地方条例を確認してください。

電源



- ・濡れた手で電源ケーブルを操作したり、取り扱ったりしないでください。感電のおそれがあります。
- ・損傷した電源ケーブルを使用しないでください。電気火災や感電のおそれがあります。
- ・電源ケーブルはあらゆる熱源から離しておいてください。電源コードの断熱材が溶けて、電気火災や感電のおそれがあります。
- ・電源ケーブルは適切な場所にしっかりと接続してください。電気火災や感電のおそれがあります。
- ・電源ケーブルを改造したり、切断したりしないでください。また、電源ケーブルの上に重い物を置いたり、過度に力を加えて電源ケーブルを引っ張ったり、差し込んだり、曲げたりしないでください。電気火災や感電のおそれがあります。



- ・アクセサリはTHINKWAREまたはTHINKWARE認定ディーラーの純正品のみを使用してください。THINKWAREは、他社製品のアクセサリとの互換性や通常動作を保証しません。
- ・電源ケーブルを本製品に接続するときは、プラグを本製品の差込口にしっかりと接続してください。接続がゆるいと、自動車の振動により電源ケーブルが外れることがあります。電源ケーブルが接続されていないと使用できません。

小さなお子様やペット



本製品は、小さなお子様やペットの手の届かない場所に設置してください。本製品が破損した場合、事故や怪我の原因となるおそれがあります。

本製品に関するその他の情報

製品の管理と操作



- 本製品を直射日光などの強い光にさらさないでください。レンズや内部回路が故障するおそれがあります。
- 製品を直射日光や強い光にさらさないでください。レンズまたは内部回路が故障する可能性があります。
- 本製品は、 $-10 \sim 60^{\circ}$ の温度で使用し、 $-20 \sim 70^{\circ}$ の温度で保管してください。指定温度の範囲外で使用、または保管した場合、本製品が設計通りに機能せず、物理的に致命的な損傷につながるおそれがあります。こうした損傷は保証の対象外です。
- 本製品の設置位置が適切かどうかを頻繁に確認してください。路面の起伏によって、走行中に設置位置がずれることがあります。その際は、本ユーザーガイドに従って設置し直してください。
- 本製品のボタンを押す際は、過度な力を加えないでください。ボタンが損傷するおそれがあります。
- 本製品の清掃に化学的な洗浄剤や溶剤を使用しないでください。本製品のプラスチック部品が損傷するおそれがあります。柔らかくてキレイな乾いた布で本製品を拭いてください。
- 本製品を分解したり、衝撃を与えたりしないでください。本製品が損傷するおそれがあります。許可なく本製品を分解した場合、本製品は保証の対象外になります。
- お取り扱いにご注意ください。本製品を落としたり、誤った取り扱いをしたり、衝撃を与えた場合、損傷や動作不良のおそれがあります。
- 本製品に異物を入れないでください。本製品が破損するおそれがあります。
- 過度な湿度を避け、本製品に水が入らないようにしてください。湿度や水にさらされると、本製品内部の電子部品が故障するおそれがあります。

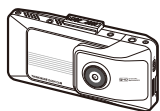


- 車両のメーカーおよび車種によっては、エンジンが切れていても電力がドライブレコーダーに供給され続ける場合があります。電力が供給され続けている12Vのシガーソケットに本製品を取り付けた場合、車両のバッテリー消耗につながる場合があります。
- 本製品は、自動車の運転中に映像を記録するように設計されています。映像の画質は、時間帯、街灯の有無、トンネルへの出入り、外気温などの気象条件や道路条件に影響されることがあります。
- 録画された映像が操作中に失われた場合でも、THINKWAREは一切責任を負いません。
- 本製品は、強い衝撃を伴う車の衝突に耐えられるように設計されていますが、事故により損傷した場合でもTHINKWAREは事故の録画を保証しません。
- 最適な画質で録画するために、フロントガラスとカメラレンズに汚れが付着したら拭き取ってください。汚れが付着していると、画質が低下する場合があります。
- 本製品は、車内で使用することを目的としています。

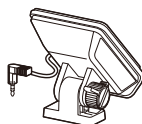
1. 製品概要

1.1 同梱物

ご使用いただく前に、以下の同梱物が揃っていることをご確認ください。



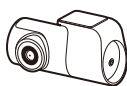
ドライブレコーダー
(本体)



GPS内蔵マウント



常時電源ケーブル



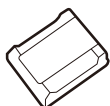
後方カメラ



後方カメラ接続ケーブル



microSDメモリーカード
(消耗品)



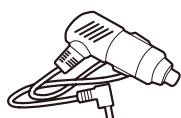
接着式ケーブルホルダー



保証規定およびQRコードガイド



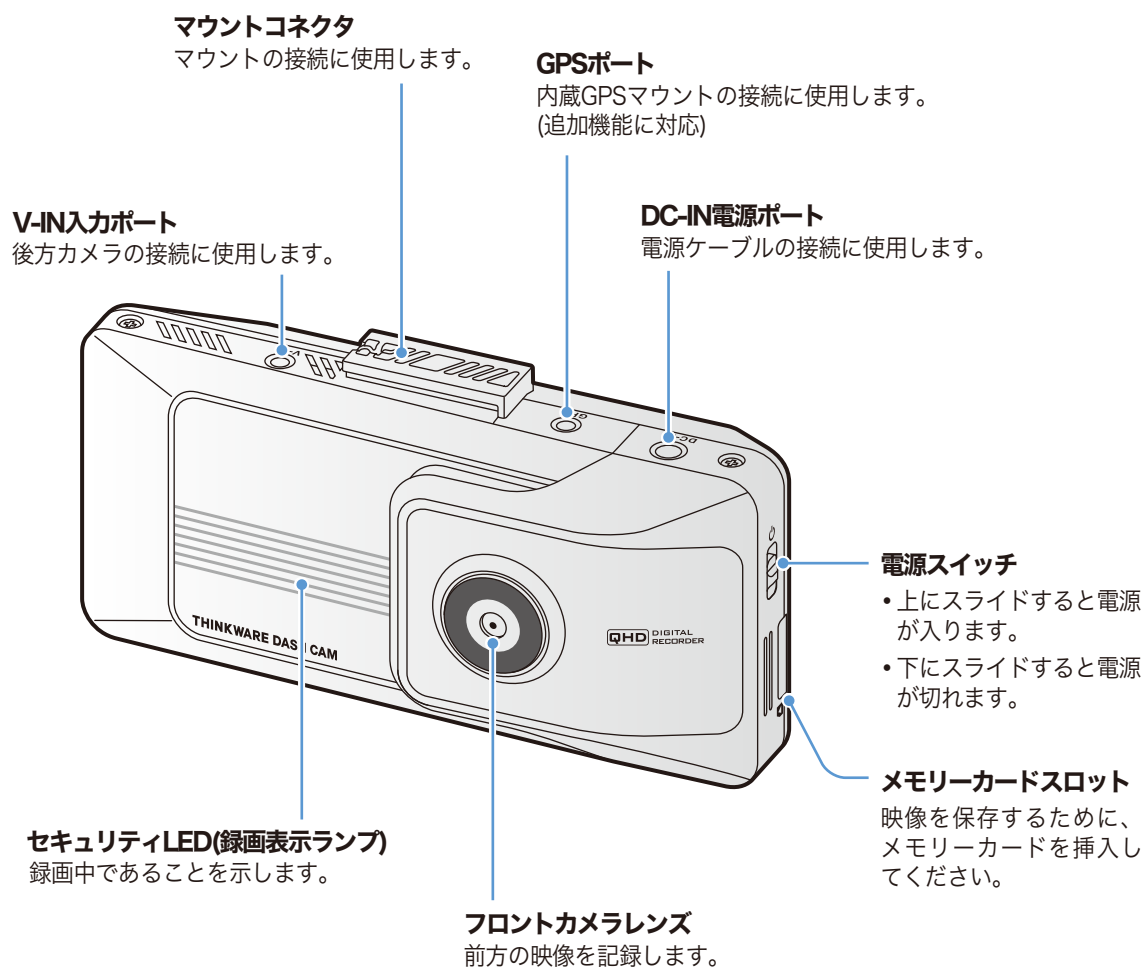
- 標準付属品は予告なく変更される場合があります。
- フロントガラスにUVカット加工や熱線が施されている場合、GPSの受信に影響を与える可能性があります。



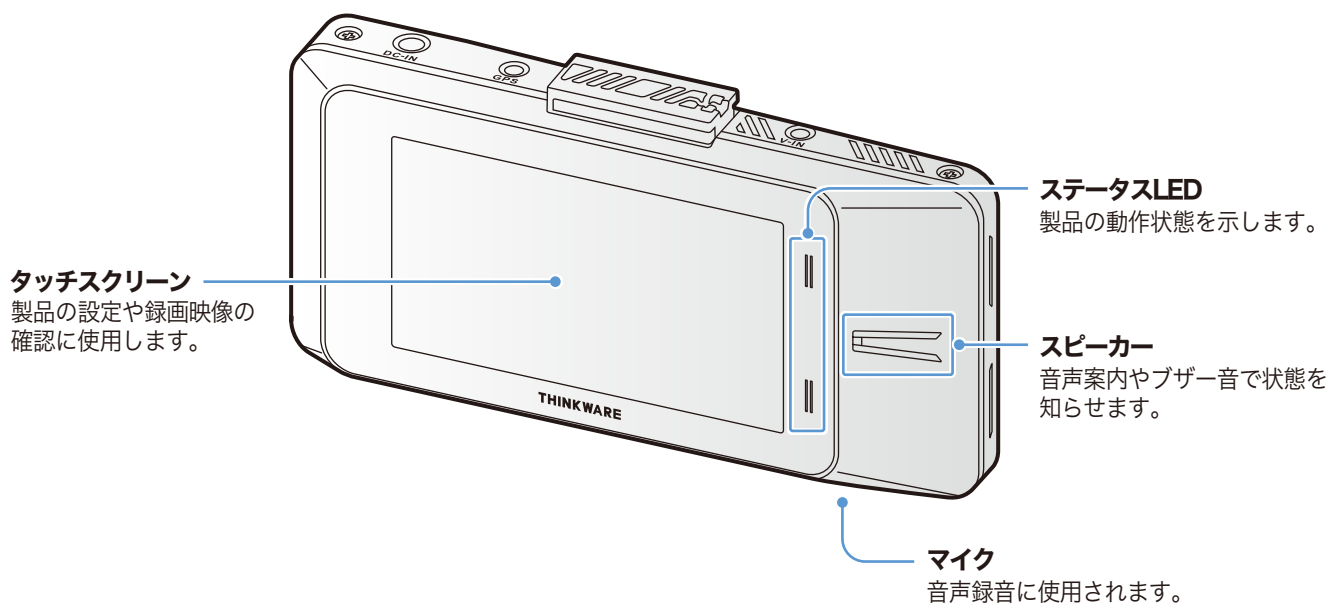
シガーソケット電源ケーブル
(別売品)

1.2 各部の名称と役割

1.2.1 ドライブレコーダー(本体) - 前面図

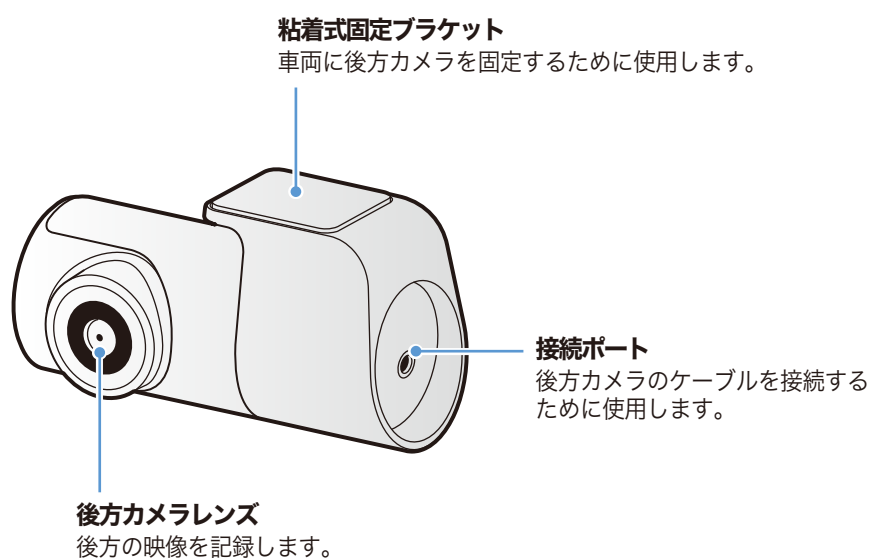


1.2.2 ドライブレコーダー(本体) - 背面図



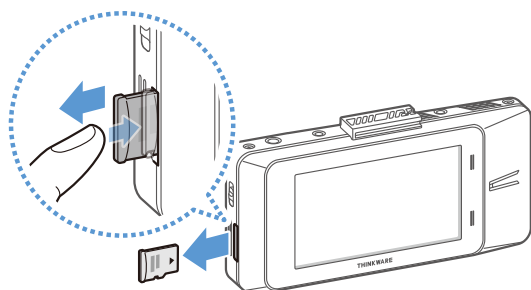
- 本製品は感圧式のタッチスクリーンを採用しています。軽く押しただけでは反応しない場合がありますので、適度な力で押してください。
- ご使用前に保護フィルムをはがしてください。フィルムを貼ったまま操作すると、誤作動の原因となる場合があります。

1.2.3 後方カメラ



1.3 メモリーカードの取り付けおよび取り外し

製品からメモリーカードを取り外す場合、または挿入する場合は、以下の手順に従ってください。



メモリーカードを取り外す前に、製品の電源が切れていることを確認してください。メモリーカードの下部を爪で軽く押すと取り外せる状態になります。その後、カードを取り出してください。

メモリーカードを挿入するには、製品に記載された挿入方向を確認してください。正しい方向でメモリーカードスロットに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



- **メモリーカードを取り外す前に、必ず製品の電源を切ってください。**電源が入ったまま取り外すと、録画された映像ファイルが破損または消失するおそれがあります。
- **メモリーカードを挿入する際は、正しい方向であることを確認してください。**誤った方向で挿入すると、カードスロットやカード本体が破損するおそれがあります。
- **THINKWARE純正のメモリーカードのみをご使用ください。**他社製のカードの互換性や正常動作は保証されません。



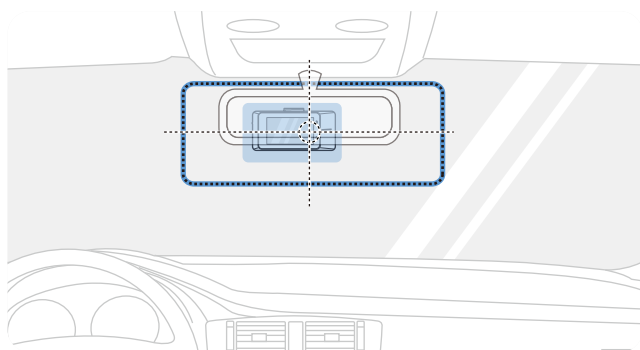
録画した映像ファイルの損失を防ぐため、別の保存デバイスに定期的にバックアップを行うことをお勧めします。

2. 製品の取り付け

2.1 ドライブレコーダー(本体)の取り付け

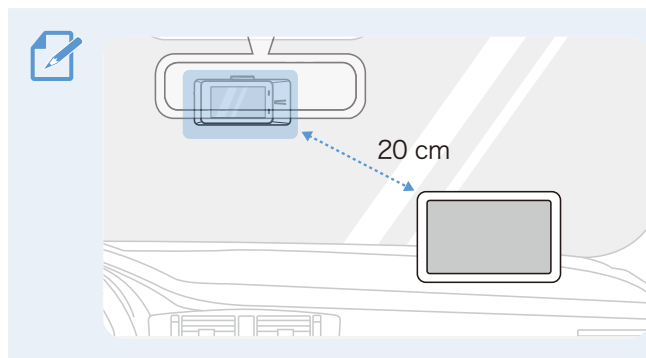
正しく製品を取り付けるために、次の手順に従ってください。

2.1.1 取り付け位置の選定



運転者の視界を妨げず、車両の前方全体を録画できる位置を選んでください。

ドライブレコーダー(本体)のレンズが、フロントガラスの中央に配置されるように設置してください。



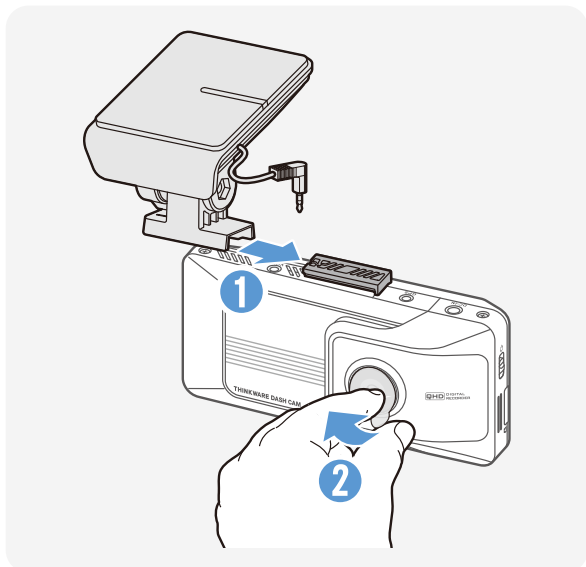
ダッシュボードにGPSナビゲーション機器を設置している場合、カメラの設置位置によっては、GPSの受信に影響を及ぼすおそれがあります。

2つの機器の間隔が20cm以上になるよう、GPS機器の設置位置を調整してください。

2.1.2 製品の取り付け

取り付け位置に製品を固定するために、次の手順に従ってください。

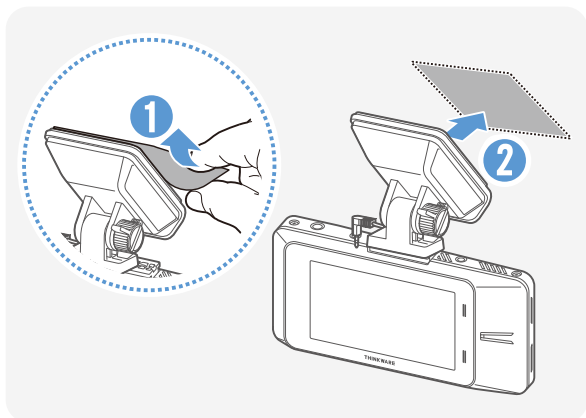
1



製品のマウントレールにマウントを合わせ、「カチッ」と音がするまでスライドさせます(①)。その後、保護フィルムをはがします(②)。

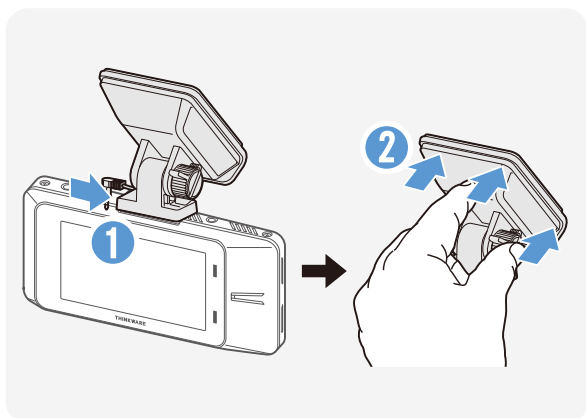
2 取り付け位置を決めたら、フロントガラスのその位置を乾いた布で拭いてください。

3



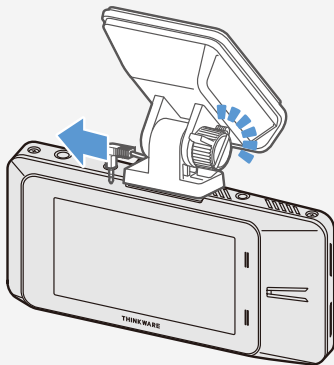
粘着式マウントの保護フィルムをはがし、取り付け位置にしっかり押し付けて固定します。

4



製品を一度マウントから取り外し、マウントがフロントガラスに確実に固定されていることを確認するため、再度押し付けてください。

5

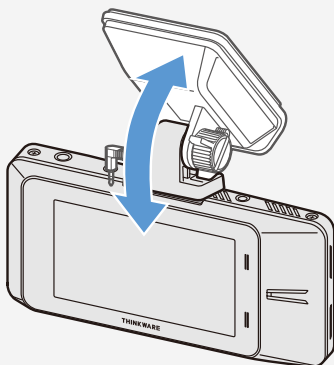


製品をマウントに合わせ、「カチッ」と音がするまでスライドさせてロック位置に固定します。



- 製品がマウントにしっかり固定されていないと、走行中に落下して破損するおそれがあります。
- 取り付け位置を変更するためにマウントをフロントガラスから取り外す際は、フィルムコートを傷つけないようご注意ください。

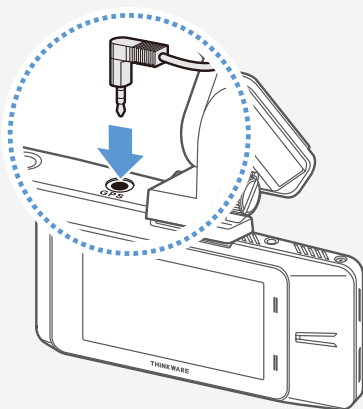
6



カメラの垂直角度を適切に調整してください。

設置完了後にも再度角度調整が必要なため、固定ネジはまだ完全に締めないでください。

7



内蔵GPSマウントを製品のGPSコネクタに接続します。



内蔵GPSマウントを接続することで、ADAS※機能や走行情報(速度・位置)の記録が可能になります。

※ADAS : Advanced Driver Assistance System(先進運転支援システム)

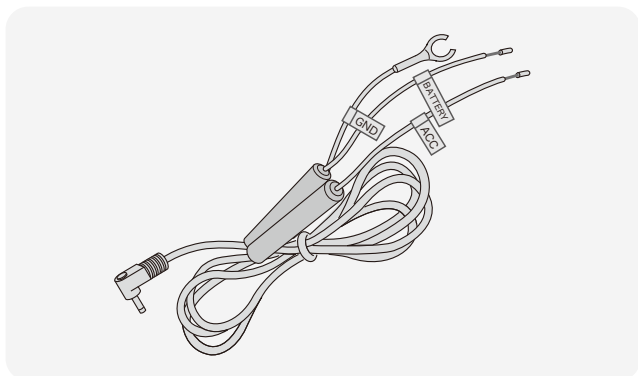


GPSマウントを接続する前に、コネクタの位置を再度ご確認ください。内蔵GPSマウントをDC-IN電源コネクタに接続すると、端子が破損するおそれがあります。

2.1.3 電源ケーブルの接続

車両の電源およびエンジンが切れた状態で、常時電源ケーブルまたはシガーライターケーブル(別売り)を製品に接続してください。

常時電源ケーブルの接続



常時電源ケーブルを接続すると、車両のエンジンをオフにした状態でもドライブレコーダーが継続して作動します(駐車モード)。駐車モードでは、車両への衝撃や周辺の物体を検知して映像を記録します。

駐車モードの詳細については、「3.6 駐車モード」を参照してください。

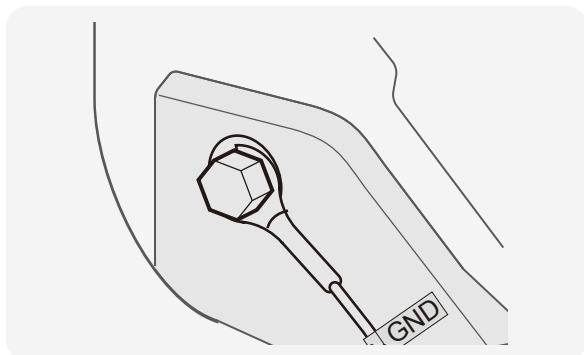


- 常時電源ケーブルを車両に接続する際は、必ず専門の技術者が行ってください。製品が正しく取り付けられていない場合、製品の故障や火災または感電事故が起こるおそれがあります。
- 必ずTHINKWARE純正の電源ケーブルを使用してください。他社製品を使用すると、電圧の違いにより製品の故障や火災または感電事故が起こるおそれがあります。
- 常時電源ケーブルを接続する際は、配線に十分ご注意ください。配線が正しくない場合、製品または車両が破損するおそれがあります。
- 電源ケーブルを接続する際は、車両内の無線機器とケーブルの間を離して設置してください。
- 常時電源ケーブルを接続して駐車録画機能を使用する場合、使用環境およびバッテリーの状態などに応じて車両のバッテリーが上がるおそれがあります。冬の時期やバッテリーの交換時期が経過している場合は、**設定の録画機能設定で録画終了電圧を約12.2V以上(12V車を基準)に設定して使用してください。**

1 ACC線(赤色)は、車両のキースイッチがACC位置で電圧12V、OFF位置で0Vになる配線に接続します。ACCがOFFの場合に0Vにならない車両やACCが無い車両は、イグニッション配線へ接続してください。

2 BATTERY線(黄色)は、車両のキースイッチがOFFでも12V電圧を供給している配線に接続します。

3

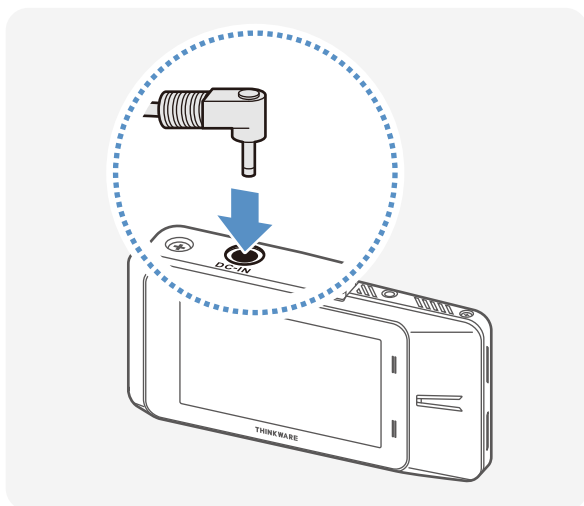


アース線(GND線)を車体金属部に取り付けられているボルトに接続します。



通常、アース線(GND線)を接続する金属製ボルトは、ヒューズボックス付近や運転席のドアの内側に取り付けられています。

4

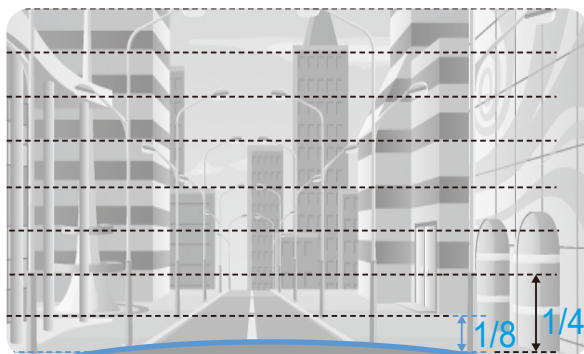


常時電源ケーブルを製品のDC-IN電源コネクタに接続し、エンジンを始動して製品が正常に作動するか確認してください。

製品の電源が入ると、音声ガイダンスとともにステータスLEDが点灯し、ライブビュー画面が表示されます。

5 液晶画面から現在の撮影角度を確認してください。

6



左の図のように、車両のボンネットが1/4～1/8程度を占めるように撮影角度を調整してください。

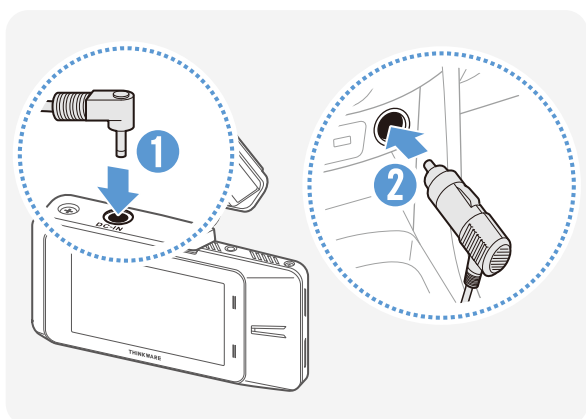
7



マウントのネジを固く締めてください。

シガーソケット電源ケーブルの接続

1



シガーソケット電源ケーブルを製品のDC-IN電源ポートに接続し、シガープラグを車両の電源ソケットに差し込みます。



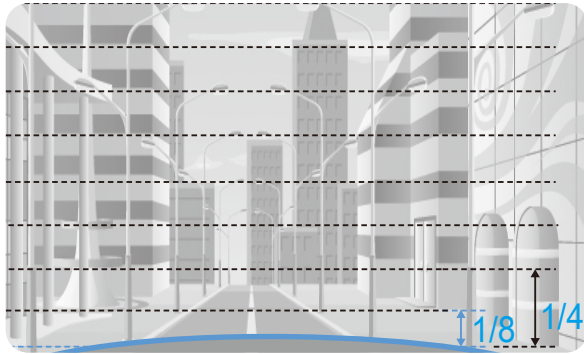
電源ソケットの位置や仕様は、車両のメーカーやモデルによって異なる場合があります。



- 純正のTHINKWAREシガーソケット電源ケーブルをご使用ください。他社製のケーブルを使用すると、電圧の違いにより、製品の故障や火災・感電の原因になることがあります。
- 電源ケーブルを自分で切断または改造しないでください。製品や車両が損傷するおそれがあります。
- 安全運転のために、ケーブルが視界を妨げたり運転の妨げにならないよう配線してください。

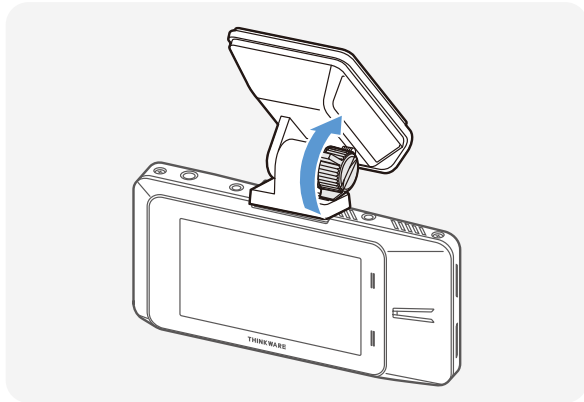
2 ACCをオンにするかエンジンを始動し、製品の電源が入っているか確認します。電源が入ると、ステータスLEDと音声ガイダンスが起動します。

3



左の図のように車両のボンネットが1/4～1/8程度を占めるように撮影角度を調整してください。

4

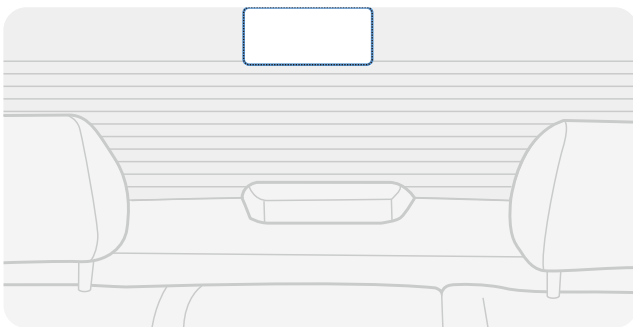


マウントのネジを固く締めてください。

2.2 後方カメラの取り付け

次の手順に従って、後方カメラを正しく取り付けてください。

2.2.1 取り付け位置の選定



リアガラスの熱線を避け、全体を撮影できる位置を選んでください。



後部座席にカーテンが設置されている車両の場合は、カーテンの開閉を妨げない位置を選んでください。

2.2.2 後方カメラの取り付け

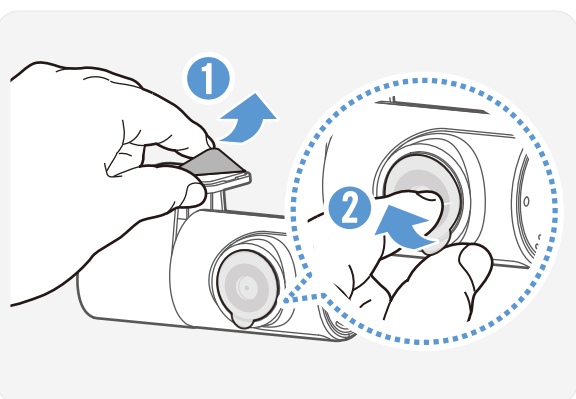
次の手順に従って、取り付け位置に製品を固定してください。

- 1 取り付け位置を決めたら、乾いた布などで接着面を拭いてください。



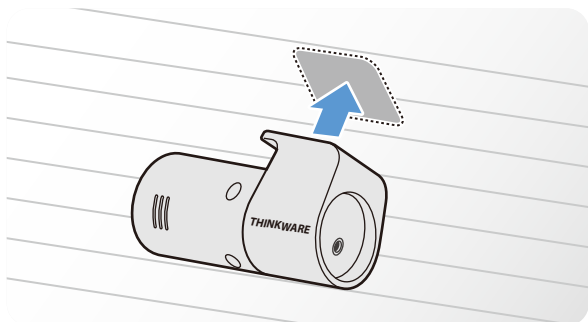
後方カメラを車両に取り付ける前に、取り付け位置をよく確認してください。マウントの接着力が非常に強力なため、リアガラスに一度貼り付けると、取り外しや取り付け位置の変更が困難になります。

2



マウントとカメラレンズの保護フィルムをはがします。

3

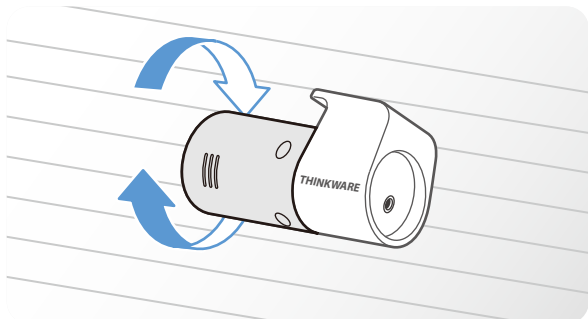


THINKWAREのロゴが車内を向くように貼り付け、接着面をしっかり押し付けて固定してください。



製品を逆向きに固定すると、後方映像が上下反転して録画されてしまいます。

4

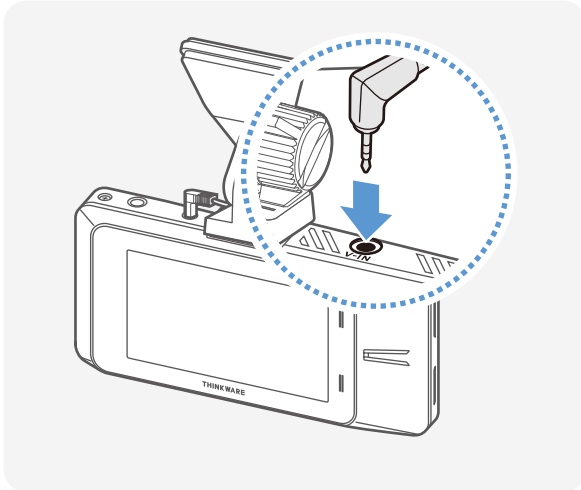


カメラの上下の撮影角度を調整してください。

2.2.3 後方カメラケーブルの接続

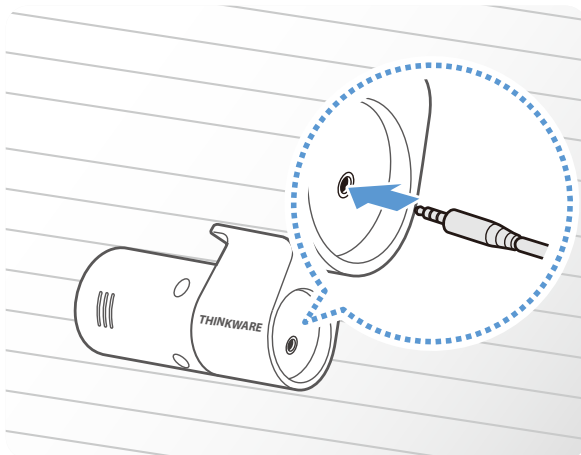
本製品の電源を切り、後方カメラケーブルをドライブレコーダー(本体)に接続します。

1



後方カメラケーブルの一方のコネクタを、ドライブレコーダー上部のV-INコネクタに接続してください。

2



後方カメラケーブルのもう一方のコネクタを、後方カメラケーブルの連結端子に接続してください。



安全運転のため、ケーブルがドライバーの視界を遮らないようにしてください。

3 アクセサリー電源をオンにするかエンジンを始動して、製品の電源が入っているか確認します。製品の電源が入ると、音声ガイダンスとともにステータスLEDが点灯し、ライブビュー画面が表示されます。

4 液晶画面から現在の撮影角度を確認し、必要に応じて調整します。

3. 録画機能の使用

3.1 製品の電源をオン/オフにする

アクセサリ電源をオン、またはエンジンを始動すると、本製品の電源が自動的に入り、連続録画が開始されます。



- 手で製品の電源をオンにするには、製品側面のスイッチを押してください。
- 必ず製品が完全に起動してから操作してください。製品の起動中は録画映像は保存されません。

3.2 LCDディスプレイの使用

本製品は、LCD画面にリアルタイムで映像を表示する「ライブビュー」機能を備えています。

画面自動オフ

画面自動オフ時間を設定できます。ライブビュー画面でホームメニュー()ボタンをタップし、設定()に入り、**[システム設定]** > **[画面自動オフ]**で、(30秒/1分/10分/オフ)から選択してください。

ロックモード

「ロックモード」機能を有効にすると、画面操作を制限して誤操作や無断操作を防止できます。ライブビュー画面でホームメニュー()ボタンをタップし、設定()に入り、**[システム設定]** > **[ロックモード]**でオン/オフを選択してください。

3.3 ステータスLEDとファイルの保存場所

ステータスLED

LCDがオフの状態でも、製品背面のステータスLEDで動作状態を確認できます。

各録画モード(常時録画/手動録画/駐車録画)におけるLED表示内容の詳細については、各モードの説明をご参照ください。

録画ファイルの保存場所

録画モードごとに、映像は以下のフォルダに保存されます。画面に表示される名称およびメモリーカード上のフォルダ名は以下のとおりです。

- ① ホームメニュー()ボタンタップします。 ② ファイルリスト()から各カテゴリを選択します。

※ホームメニューボタンをタップすると、録画は一時停止されますのでご注意ください。

本体画面上	• 常時録画	• 衝撃検知録画	• 駐車録画	• 駐車中衝撃録画	• 手動録画	• 保存映像
メモリーカード	cont_rec	evt_rec	motion_timelapse_rec	parking_rec	manual_rec	safety_box



映像は本製品またはPCで再生してください。スマートフォンやタブレットにメモリーカードを挿入して再生すると、映像が失われるおそれがあります。

3.4 常時録画機能の使用

電源ケーブルを本体のDC-IN電源ポートに接続し、車のACCまたはエンジンを始動すると、ステータスLEDと音声ガイドが作動し、常時録画が開始されます。

ライブビュー画面が表示された時点で、自動的に常時録画が始まります。

モード	動作説明	ステータスLED
常時録画	走行中、映像は1分単位で録画され、「cont_rec」フォルダに保存されます。	 (点灯)
常時衝撃録画※	常時録画中に車両への衝撃が検知されると、検知の10秒前から10秒後までの約20秒間が録画され、「evt_rec」フォルダに保存されます。録画開始時にはブザー音が鳴ります。	 (点滅)

※常時録画中に車両への衝撃が検知されると、ブザー音とともに衝撃検知録画(イベント録画)が開始されます。



- 製品の電源を入れた後、完全に起動するまでお待ちいただき、それから車両の運転を開始してください。録画は製品が完全に起動した後に開始されます。
- 常時録画中に衝撃検知録画(イベント録画)が開始されると、ブザー音で通知されます。
- すべての録画モードを使用するには、メモリーカードを本製品に挿入してください。

3.5 手動録画

運転中に記録したいシーンを手動で録画し、別ファイルとして保存できます。手動録画された映像は、容量不足による重要データの消失を防ぐために「manual_rec」フォルダに保存されます。

手動録画を開始するには、ライブビュー画面で手動録画()ボタンをタップしてください。

モード	動作説明	ステータスLED
手動録画	手動録画()ボタンを押すと、ボタンを押す10秒前から押した後50秒までの映像が1分間録画され、「manual_rec」フォルダに保存されます。	 (点滅)

手動録画された映像を再生するには、ライブビュー画面でホームメニュー()ボタンを押し、ファイルリスト()に入り、**[手動録画]**をタップしてから再生したい映像を選択してください。

3.6 駐車モードの使用

製品が常時電源ケーブルを使用して車両に接続されている場合、エンジンまたはACCの電源が切れると、音声ガイドとともに駐車モードに切り替わります。



- ・駐車モードは、常時電源ケーブルが接続されている場合にのみ作動します。このケーブルは、訓練を受けた整備士によって車両に正しく取り付けられる必要があります。
- ・すべての録画モードを使用するには、本製品にメモリーカードを挿入してください。
- ・車両のバッテリー充電状態によって、駐車モードの持続時間は異なる場合があります。長時間使用する場合は、バッテリーの放電(バッテリー上がり)を防ぐため、充電状態を事前に確認してください。

駐車モードを使用しない場合や設定を変更したい場合は、ライブビュー画面でホームメニュー()ボタンを押し、設定() > **[録画機能の設定]** > **[駐車モード]**をタップしてください。

下の表を参照して、駐車モードのオプションを設定してください。

オプション		動作説明	ステータスLED
モーション検知	動体や衝撃が検知されない場合	周囲の動体や車両への衝撃を監視します。動体や衝撃が検知された場合にのみ録画されます。	 (ゆっくり点滅)
	動体が検知された場合	駐車中に動体を検知した場合、検知の10秒前から10秒後までの20秒間が録画され、「motion_timelapse_rec」フォルダに保存されます。	 (高速点滅)
	衝撃が検知された場合	駐車中に衝撃を検知した場合、検知の10秒前から10秒後までの20秒間が録画され、「parking_rec」フォルダに保存されます。	 (高速点滅)

オプション		動作説明	ステータスLED
タイムラプス	衝撃が検知されない場合	衝撃が検知されない場合、映像は2fpsで10分間録画され、「motion_time lapse_rec」フォルダに2分間のファイルとして保存されます。このオプションで録画されたファイルは容量が小さいため、長時間録画が可能です。	 (ゆっくり点滅)
	衝撃が検知された場合	駐車中に衝撃が検知されると、映像は2fpsで100秒間録画されます(衝撃の50秒前から50秒後まで)。その後「parking_rec」フォルダに保存され、20秒のファイルに圧縮されます(ブザー音が鳴ります)。	 (高速点滅)
省エネ	衝撃が検知されない場合	衝撃を監視します。衝撃が検知されない場合は映像は保存されません。	オフ
	衝撃が検知された場合	駐車中に衝撃が検知されると、検知後1秒以内に録画が始まり、「parking_rec」フォルダに20秒の映像が保存されます。	 (高速点滅)
機能オフ		エンジンまたはACCの電源を切ると、製品の電源もオフになります。	オフ



駐車モード設定を変更すると、以前の設定で録画された映像は削除されます。データ損失を防ぐために、設定変更前に駐車モード映像をバックアップしてください。



- ・モーション検知、タイムラプス、省エネは同時に使用できません。
- ・スーパーナイトビジョン機能をオンにすれば、夜間の駐車中もクリアな映像が録画できます。

3.7 スーパーナイトビジョンの使用

スーパーナイトビジョン機能を使用すると、この機能を使用しない場合よりもはるかに明るい映像を録画できます。この機能は、映像の明るさを向上させるリアルタイムの画像信号処理(ISP)によって実現されています。この機能は、常時録画、駐車録画、常時+駐車モードで利用可能で、フロントカメラにのみ対応しています。

1 ライブビュー画面でホームメニュー()ボタンをタップし、設定()>[カメラ設定]に進みます。

2 [スーパーナイトビジョン]の[常時モード]/[駐車モード]の中から希望の録画モードを選択してください。



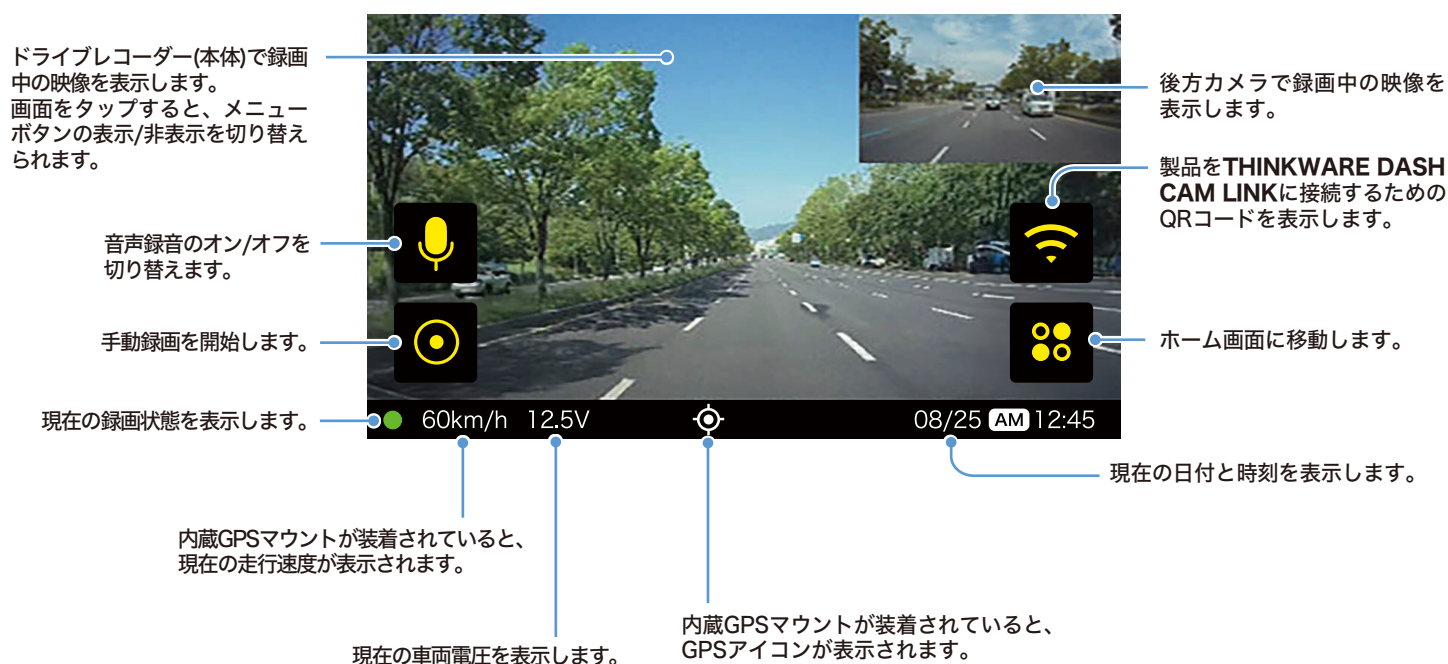
- ・[常時モード]と[駐車モード]の両方を選択した場合、スーパーナイトビジョン機能は両方のモードで有効になります。
- ・どちらも選択されていない場合、スーパーナイトビジョン機能は無効になります。

3.8 画面のレイアウト

以下は、ライブビュー画面とホーム画面のレイアウト説明です。

3.8.1 ライブビュー画面

ライブビュー画面では、現在録画中の映像を確認したり、LCD画面をタップして製品を操作したりできます。ACCをオンにするかエンジンを始動すると、ライブビュー画面が表示されます。



電源を入れた後、製品が完全に起動するまで待ってから車両を運転してください。製品が完全に起動するまでは、録画は開始されません。



LCD自動オフ設定を「オフ」にすると、ディスプレイが常に点灯したままとなり、製品の消費電力が増加します。

3.8.2 ホーム画面

ライブビュー画面でホームメニュー()ボタンをタップすると、ホーム画面に移動できます。



- 製品を操作する前に、安全な場所に車両を停止してください。
- ホーム画面を操作中は録画が停止します。
- 映像は必ず本製品またはパソコンで再生してください。スマートフォンやタブレットなどの機器にメモリーカードを挿入して再生すると、映像ファイルが失われる可能性があります。

3.9 映像の再生

録画された映像は本体またはPCビューアで再生できます。PCビューアでの再生方法は「7. PCビューアの使用」を参照してください。以下の手順に従って映像を再生します。

- 1 ライブビュー画面でホーム()ボタンをタップし、ファイルリスト()を選択します。各録画モードごとの動画数が表示されます。



- 2 カテゴリーを選択すると、ビデオファイルのリストが表示されます。再生したいビデオを選択してください。



3 再生画面のボタンをタップして、ビデオプレーヤーやその他の機能を操作できます。



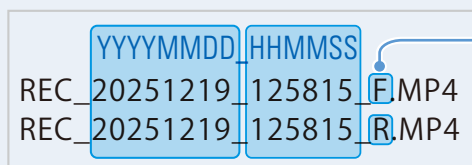
LCD画面の再生エリアをタップすると、全画面モードに切り替わります。全画面モードを終了するには、もう一度画面をタップしてください。



- ビデオファイルリストを確認したり、映像を再生している間は録画が停止されます。
- 映像は製品またはパソコンでのみ再生してください。スマートフォンやタブレットにメモリーカードを挿入して再生すると、映像ファイルが失われることがあります。
- 再生中は車両の速度や照明条件によって、ナンバープレートが識別できない場合があります。



- ファイル名は、録画開始日時と録画オプションで構成されます。



録画区分

- F: ドライブレコーダー(本体)
- R: 後方カメラ

- 録画中にメモリーカードの容量が不足した場合、保存領域を確保するために以前の映像が削除されます。
 - 常時録画用の保存領域が不足している場合：古い常時録画映像から順に削除され、新しい映像で書き込まれます。イベント映像ファイル(衝撃録画及び手動録画ファイル)は削除されません。
 - その他の保存領域が不足している場合(イベント映像のみ)：イベントファイルは古い順に削除されます。

4. 道路安全機能およびADAS機能の使用

道路安全機能に加えてADAS機能を使用するには、車両の位置や速度情報を提供するGPS内蔵マウントを取り付ける必要があります。



- 道路状況や天候などの周囲の環境は、システムの認識および性能に影響を及ぼすおそれがあります。
- カメラレンズの一部または全部が覆われるような状況では、システム機能が低下するおそれがあります。

4.1 安全運転案内機能

安全運転案内機能には、速度監視カメラ警報および交通取り締まり区間(日本未サポート)が含まれます。

これらの機能を無効にするには、ライブビュー画面でホーム()ボタンをタップし、設定()へ入り、[交通安全警報設定] > [安全運転案内機能]からOFFに設定してください。

機能	説明	通知アイコン
速度監視カメラ警報	車両が固定式速度取締機設置区間に近づくと、制限速度が音声アナウンスされます。	
交通取り締まり区間 (日本未サポート)	各国の速度ゾーンに関するガイドを提供します。	



- スピードカメラ機能を使用するには、車両の位置および速度情報を提供する内蔵GPSマウントを取り付ける必要があります。

4.2 ADAS機能(先進運転支援システム機能)

ADAS機能には、ADAS設定およびADAS安全機能が含まれます。

4.2.1 ADAS機能の設定

すべてのADAS機能を使用するには、車両の位置および速度情報を提供するGPS内蔵マウントを使用する必要があります。

車両タイプの識別

ライブビュー画面でホーム()ボタンをタップし、設定() > [交通安全警告設定] へ進み、[ADAS機能]内の[車両タイプ]からセダン/SUV/トラック(バス)を選択してください。

ADAS設定(自動キャリブレーション)を行う

ADAS機能の精度を向上させるには、ADAS設定画面の指示に従って位置調整を行ってください。

- 1
- ライブビュー画面でホームメニュー(🏠)ボタンをタップし、設定(⚙️) > [交通安全警告設定]に進み[ADAS機能] > [ADASガイド画面]の「画面確認」をタップします。



ADASガイド画面の指示に従って、ドライブレコーダー(本体)の角度を調整してください。
調整後、1分以上運転して調整を完了してください。



ADAS設定を調整する際は、製品の位置が初期取り付け位置(製品のレンズがフロントガラスの中央)から7cm以内になるように調整してください。

初期設定後、ADAS機能を使用できます。

4.2.2 ADASによる安全運転支援機能

ADASの安全運転支援機能については、以下の表をご参照ください。

ADAS機能を無効にするには、ホームメニュー(🏠)ボタンをタップし、設定(⚙️) > [交通安全警告設定] > [ADAS機能]に進み、無効にしたい項目をOFFに設定してください。

機能	説明	通知アイコン
前方車発進通知	停車中の前方車両が発進したことを検知し、4秒後に運転者に通知します。	
前方衝突警告	実映像を基に前方の衝突リスクを検知し、車速が40km/h以上のときに運転者に警告します。	
低速前方衝突警告	実映像を基に衝突リスクを検知し、車速が10～30km/hのときに運転者に警告します。	
車線逸脱警告	実映像を基に車線逸脱を検知し、運転者に警告します。	
車線逸脱検知速度	設定された速度を超えた場合にのみLDWSが作動します。	

5. 設定

必要や好みに応じて、設定メニューから製品機能を設定できます。

5.1 カメラの設定

ライブビュー画面でホームメニュー()ボタンをタップし、設定()>[カメラ設定]を選択してカメラ設定を調整します。

オプション	説明
前方カメラ明度設定	前方カメラ映像の明るさを「明るい」/「中間」/「暗い」から選択します。
後方カメラ映像を反転	「ON」/「OFF」を選択します。
スーパーナイトビジョン	「設定」を押して、「常時モード」および「駐車モード」をそれぞれ「ON」/「OFF」を選択します。

5.2 録画機能の設定

ライブビュー画面でホームメニュー()ボタンをタップし、設定()>[録画機能の設定]を選択して録画設定を変更します。

オプション	説明
常時衝撃感度	「最低」/「低」/「中間」/「高」/「最高」から選択します。
駐車モード	「モーション検知」/「タイムラプス」/「省エネ」/「OFF」から選択します。
駐車モード切替待機時間	「30秒」/「1分」/「2分」/「3分」/「4分」/「5分」の中から選択できます。
スマート駐車録画機能	「設定」を押して、「スマート高温保護機能」および「長時間録画機能」をそれぞれ「ON」/「OFF」から選択します。
駐車衝撃感度	「最低」/「低」/「中間」/「高」/「最高」から選択します。
モーション感度	「低」/「中間」/「高」から選択します。
終了タイマー	「6時間」/「12時間」/「24時間」/「48時間」/「OFF」の中から選択できます。
低電圧シャットダウン	「ON」/「OFF」から選択します。
終了電圧	車種に応じてシャットダウン電圧を設定します。
冬季カットオフ電圧	冬季にバッテリー消耗を防ぐために、設定した電圧より更に低い電圧でシャットダウン機能が適用される月を選択します。



- 常時衝撃感度の設定が高すぎる場合、道路状況や運転による微小な衝撃でも録画が行われるため、メモリーカードの寿命が短くなる可能性があります。
- 常時衝撃感度の設定が低すぎる場合、軽微な事故が発生しても録画されない可能性があります。



- 駐車モードで長時間録画を行うと、車両のバッテリーが消耗し、エンジンが始動できなくなるおそれがあります。
- [終了電圧]の設定は、[低電圧シャットダウン]設定がONのときのみ有効です。
- 終了電圧の値が低すぎると、車種や温度などの条件によっては、バッテリー上がりが発生するおそれがあります。
- 12Vバッテリー(普通乗用車など)を使用する場合は、12Vの終了電圧を設定してください。24Vバッテリー(トラックや大型車両など)の場合は、24Vの終了電圧を設定してください。

5.3 運転安全機能およびADAS機能の設定

5.3.1 運転安全機能の設定

ライブビュー画面でホームメニュー()ボタンをタップし、設定() > [交通安全警告設定]を選択して、[安全運転案内機能]の設定を変更します。

オプション	説明
速度監視カメラ警報	「ON」 / 「OFF」 から選択します。
交通取り締まり区間	「ON」 / 「OFF」 から選択します。

5.3.2 ADAS(先進運転支援システム)の設定

ライブビュー画面でホームメニュー()ボタンをタップし、設定() > [交通安全警告設定]を選択して、[ADAS機能]の設定を変更します。

オプション	説明
車両タイプ	「セダン」 / 「SUV」 / 「トラック」 から選択します。
ADASガイド画面	「画面確認」 をタップし、ディスプレイの案内に従って製品の位置を調整してください。
ADAS補正の初期化	ADASを初期化するには「リセット」 をタップし、OまたはXを選択してください。
前方車発進通知	「ON」 / 「OFF」 から選択します。
前方衝突警告	「低」 / 「中間」 / 「高」 / 「OFF」 から選択します。
低速前方衝突警告	「低」 / 「中間」 / 「高」 / 「OFF」 から選択します。
車線逸脱警告	「低」 / 「中間」 / 「高」 / 「OFF」 から選択します。
車線逸脱検知感度	車線逸脱警告が作動する速度を 「50km/h」 / 「60km/h」 / 「80km/h」 / 「100km/h」 から選択できます。

5.4 システム設定の構成

ライブビュー画面でホームメニュー()ボタンをタップし、設定()>[システム設定]を選択します。

オプション	説明
ロックモード	ロックモードの「ON」/「OFF」を設定します。
言語	言語を選択してください。「日本語」と「英語」に対応しています。
音量	警報音や各種システム音(速度監視カメラ警報/ADAS/システムおよびその他)の音量を、1～3のレベルから選択できます。音量をOFFにすることも可能です。
タッチスクリーンを補正	画面の指示に従って、タッチスクリーンを補正します。
画面輝度	画面の明るさレベルを「暗く」/「標準」/「明るく」の中から設定します。
画面自動オフ	「30秒」/「1分」/「10分」/「OFF」の中から選択できます。
時計画面	時計の「ON」/「OFF」を選択します。
セキュリティLED	セキュリティLEDの「ON」/「OFF」を選択します。(本体のみ)
夏時間調整	サマータイム(夏時間)を「ON」/「OFF」から選択します。
速度単位	速度表示の単位を km/h または mph から選択します。
映像内速度表示	映像に速度スタンプを表示するかどうかを「ON」/「OFF」で設定します。
パーティション設定	メモリパーティションのタイプを以下から選択します。 連続優先/イベント優先/駐車優先/手動優先/走行時のみ録画
省メモリモード	メモリ節約モードを「ON」/「OFF」から選択します。
メモリーフォーマット	「フォーマット」をタップし、OまたはXを選択してください。
設定初期化	設定を初期状態にリセットします。



- LCD自動オフ設定を「OFF」にすると、画面が常に表示されて消費電力が増加します。
- 本製品は「Format Free 2.0」機能を搭載しており、頻繁にメモリーをフォーマットせずに長時間映像を保存できます。
- フォーマットを実行すると、メモリーカードに保存されたすべてのデータが削除されます。フォーマットをキャンセルするには、キャンセル()ボタンをタップしてください。フォーマット中に製品の電源を切ったりメモリーカードを取り外したりすると、致命的なエラーが発生するおそれがあります。

6. モバイルビューアの使用

スマートフォンで録画映像を確認し、さまざまな製品機能を設定できます。



- **THINKWARE DASH CAM LINK** アプリを使用するには、以下のいずれかの環境が必要です。
 - Android 9.0以上
 - iOS 15以上
- **THINKWARE DASH CAM LINK**アプリのサービスおよび機能は、サービスポリシーに基づき変更されることがあります。詳しくはTHINKWARE JAPANのウェブサイト(<https://www.thinkware.co.jp>)をご確認ください。
- サービスポリシーにより、最低OS要件が引き上げられた場合、旧バージョンのOSを使用しているユーザーは、アプリの最新バージョンに更新できず、アップデートによるサービスも利用できません。但し、既存のアプリは引き続き使用可能です。

6.1 製品をスマートフォンに接続する

- 1 スマートフォンで Google Play ストアまたは Apple App Store を開き、**THINKWARE DASH CAM LINK** をダウンロードしてインストールしてください。
- 2 **THINKWARE DASH CAM LINK** を起動してください。
- 3 画面下部の「**ドライブレコーダーの登録**」をタップし、画面の指示に従って製品をスマートフォンに接続してください。

7. PCビューアの使用

録画映像をPCで確認し、さまざまな製品機能を設定できます。

7.1 システム要件

PCビューアを使用するためのシステム要件は以下のとおりです。

- **プロセッサ**：インテル Core i5 以上
- **メモリ**：4 GB 以上
- **オペレーティングシステム**：Windows 7 以上(64 ビット 推奨)、Mac OS X 10.10 以上
- **その他**：DirectX 9.0 以上 / Microsoft Internet Explorer 7.0 以上



上記以外のOSを使用しているPCでは、PCビューアが正常に作動しない場合があります。

7.2 PCビューアの概要

7.2.1 PCビューアのダウンロード

最新のPCビューアは、THINKWAREのウェブサイトからダウンロードできます。

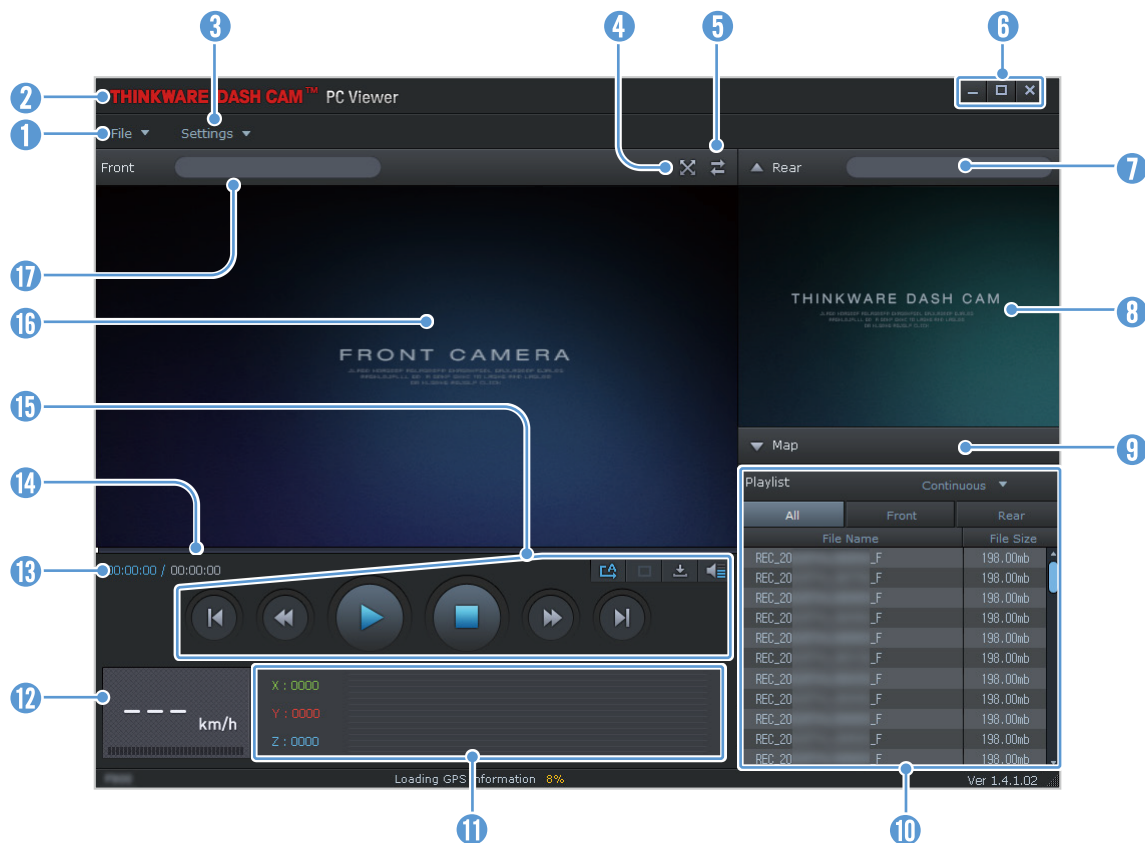
- 1 お使いのPCでウェブブラウザを開き、<https://www.thinkware.co.jp/Support/Download/>にアクセスします。
- 2 モデル名を選択します。
- 3 OSを選択して、「ダウンロード」をクリックします。



- Mac用のPCビューアは、THINKWAREのウェブサイトアクセスしなくても、Apple App Storeからダウンロード可能です。
- Mac OS X 10.13以前を使用している場合は、PCビューアはウェブサイトからのみダウンロードできます。

7.2.2 PCビューアの画面構成

以下は、PCビューアの画面レイアウトに関する簡単な情報です。



No.	説明
①	ファイルを開く、または別名でビデオを保存します。
②	THINKWAREの公式ウェブサイトアクセスします。
③	ドライブレコーダーの設定を確認・変更し、PCビューアの言語を設定します。
④	現在の映像を全画面で表示します。前の画面に戻るには「戻る(⏮)」ボタンを押してください。
⑤	フロント映像とリア映像を切り替えます。
⑥	ソフトウェアを最小化、拡大、または終了します。
⑦	リアカメラの映像ファイル名を表示します。
⑧	録画されたリアカメラの映像を表示します。
⑨	地図画面を表示します。
⑩	プレイリストを表示します。
⑪	録画時のGセンサー値を表示します。
⑫	録画時の車両の速度および進行方向を表示します。
⑬	現在の再生時間と映像の合計時間を表示します。
⑭	映像再生の進行状況を表示します。
⑮	映像を再生または一時停止します。
⑯	録画されたフロントカメラの映像を表示します。
⑰	フロントカメラの映像ファイル名を表示します。

7.2.3 PCビューアで録画映像を再生する

録画された映像を再生するには、画面の指示に従って操作してください。

- 1 製品の電源を切り、メモリーカードを取り外します。
- 2 メモリーカードをPCに接続されたカードリーダーに挿入します。
- 3 PCビューアのショートカット()をダブルクリックして、プログラムを起動します。メモリーカード内の映像ファイルは、PCビューア画面の右下にあるプレイリストに自動で追加されます。プレイリストセクションのレイアウトは以下のとおりです。



- 4 ビデオフォルダを選択した後、再生したいビデオファイルをダブルクリックするか、▶ボタンをクリックしてください。選択された映像が再生されます。

 メモリーカード内の映像ファイルがプレイリストに自動で追加されない場合は、PCビューアを起動後、 をクリックし、メモリーカードのリムーバブルストレージを選択してから確認をクリックしてください。

8. ファームウェアのアップグレード

ファームウェアのアップグレードは、製品の機能向上、動作の改善、または安定性の強化を目的として提供されます。製品を最適な状態で使用するために、ファームウェアを常に最新の状態に保ってください。

以下の手順に従って、ファームウェアをアップグレードしてください。



ファームウェアは、モバイルビューアまたはPCビューアからもダウンロード可能です。以下の方法でファイルをダウンロードした後、ステップ6から進めてください。

- **モバイルビューア**：製品を **THINKWARE DASH CAM LINK** アプリに接続し、**[MORE > Support]** をタップして最新のファームウェアを確認・ダウンロード
- **PCビューア**：メモリーカードをPCに接続し、PCビューアを起動します。最新ファームウェアがある場合、通知ポップアップが表示され更新できます。

- 1 PCでウェブブラウザを開き、<https://www.thinkware.com/Support/Download> にアクセスします。
- 2 該当する製品を選択し、最新のファームウェアをダウンロードします。
- 3 ダウンロードしたファイルの圧縮を解凍します。
- 4 製品の電源を切り、メモリーカードを取り外します。
- 5 メモリーカードをPCで開き、ファームウェアファイルをメモリーカードのルートフォルダにコピーします。
- 6 製品に電源を入れずに、メモリーカードを製品に挿入します。
- 7 製品に電源ケーブルを接続しACCをONにするか、エンジンを始動して電源を入れます。
ファームウェアのアップグレードが自動で開始され、完了後に再起動されます。



アップグレード中に電源を切ったり、メモリーカードを取り外したりしないでください。製品や保存されたデータが破損するおそれがあります。

9. トラブルシューティング

以下の表は、製品使用中に発生する可能性のある問題とその解決方法を示しています。表に記載された対策を講じて問題が解決しない場合は、カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

問題	解決方法
製品の電源が入らない	- 電源ケーブル(常時電源ケーブルまたはシガーソケット電源ケーブル)が、車両および製品に正しく接続されているか確認してください。 - 車両のバッテリー状態を確認してください。
音声ガイドやブザーが鳴らない	音量が最小に設定されていないか確認してください。
映像が不鮮明または見えにくい	- カメラレンズの保護フィルムがはがされているか確認してください。保護フィルムが付いたままだと、映像が不鮮明になることがあります。 - 前方または後方カメラの取り付け位置を確認し、製品の電源を入れてからカメラの撮影角度を調整してください。
メモリーカードが認識されない	- メモリーカードが正しい向きで挿入されているか確認してください。挿入前にメモリーカードの金属接点と製品に記載された挿入方向を確認してください。 - 電源を切ってメモリーカードを取り外し、スロット内の接点に損傷がないか確認してください。 - THINKWAREが提供する純正メモリーカードを使用しているか確認してください。他社製のカードの互換性および正常な動作は保証されません。
録画映像がPCで再生できない	録画された映像はMP4形式で保存されています。ご使用のPCにインストールされている再生ソフトが、MP4形式の再生に対応しているか確認してください。
GPS信号が受信できない	電波の届かない地域や高層ビルの間に製品がある場合、GPS信号を受信できないことがあります。暴風雨などの悪天候時にも受信できない場合があります。晴れた日にGPS受信状況が良好な場所で再度お試しください。受信まで最大5分かかる場合があります。

サービスセンターに連絡する前に

メモリーカードに保存されている重要なデータは、必ずバックアップしてください。修理中にデータが削除されるおそれがあります。THINKWAREはデータ損失に対して一切の責任を負いません。

10. 製品仕様

製品仕様については、以下の表をご参照ください。

項目	仕様	備考
モデル名	QN300	後方カメラ：BCFH-60
寸法	104.8×49.6×27.6mm(マウント除く)	後方カメラ：61×27×25mm
メモリー	microSD メモリーカード	32GB、64GB、128GB、256GB 対応
ディスプレイパネル	2.7インチ IPS LCD(320×240)	
カメラセンサー	514万画素、1/2.8インチ Sony センサー	後方カメラ：4 Megapixel, 1/3"
映像	QHD + FHD、29fps、H.264コーデック	
録画モード	常時録画、常時衝撃録画、手動録画、駐車録画(モーション検知、タイムラプス、省電力)	
機能	メモリー節約、スーパーナイトビジョン(前方のみ)、スマート駐車録画(高温保護/長時間録画)	
加速度センサー	3軸加速度センサー(3D、±3G)	
GPS	GPSマウント内蔵	ADAS機能対応(前方衝突警告、車線逸脱警告など)
電源入力	DC 12/24V 対応	
LEDインジケーター	セキュリティLED、ステータスLED	
消費電力	最大 4.07W 駐車録画時：2.84W 省電力時：1.61W	フル充電されたスーパーキャパシタ/GPSを除き、実際の消費電力は使用状況や環境によって異なる場合があります。
補助電源装置	スーパーキャパシタ	
アラーム	内蔵スピーカー	音声ガイド(ブザー音)
動作温度	-10 ～ 60°	
保管温度	-20 ～ 70°	

<http://www.thinkware.co.jp>